

会員へのお知らせ

医療法施行規則の一部を改正する省令案に関する意見の募集について

日医発第1250号（法安177）

平成27年3月26日

日本医師会会長 横倉 義武

医療事故調査制度につきましては、厚生労働省の「医療事故調査制度の施行に係る検討会」のとりまとめが示されたところですが、このたび厚生労働省では、同とりまとめをふまえて医療事故調査制度の施行に向けた医療法施行規則の一部を改正する省令案を公表し、これに対する意見（パブリックコメント）の募集を開始しております（提出期限4月21日）。

つきましては、同施行規則改正案に対してご意見がございましたら、下記の要項にしたがい厚生労働省宛ご提出をお願い申し上げます。

記

「医療法施行規則の一部を改正する省令案に関する意見の募集について」、「省令案概要」、「施行規則新旧対照条文」

<http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495140507&Mode=0>

（参考）「医療事故調査制度の施行に係る検討会」における取りまとめについて

<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000078202.html>

PMDAホームページのリニューアルについて

日医発第1252号（法安174）

平成27年3月27日

日本医師会会長 横倉 義武

今般、独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PMDA）よりホームページをリニューアルした旨連絡がありました。

現行の「医薬品医療機器 情報提供ホームページ（<http://www.info.pmda.go.jp>）」を「独立行政法人医薬品医療機器総合機構ホームページ（<http://www.pmda.go.jp>）」に統合するとともに、誰でも使いやすいホームページとなるよう全面的にリニューアルされているとのことです。

また、本リニューアルに伴いこれまでのホームページへのリンクが切れている可能性があります。ホームページ等においてPMDAのホームページに何らかのリンクを貼っている場合は正常に繋がることをご確認ください。

本件に関するPMDAの照会先は下記の通りとなります。

記

本件に関するPMDA照会先

独立行政法人医薬品医療機器総合機構 企画調整部広報課

TEL：03-3506-9454 FAX：03-3506-9461

PMDAメディナビの普及及び利用促進について

日医発第1253号（法安175）

平成27年3月27日

日本医師会会長 横倉 義武

独立行政法人医薬品医療機器総合機構では、医薬品、医療機器等の安全性に関する重要な情報が発出された際にその情報を電子メールで配信する無料のサービス「PMDAメディナビ」（医薬品医療機器情報配信サービス）（以下「本サービス」）を提供し、平成27年2月現在、登録者は医療関係者を中心に約11万件となっています。

今般、本サービスのより一層の利用促進を目指す観点から、あらためて本会に協力を求める旨、厚生労働省医薬食品局安全対策課長より依頼がありました。

本サービスの登録は下記のホームページから可能となっております。

記

尚、PDMAホームページは平成27年3月16日よりリニューアルされており（日医発第1252号（法安174））、リンクを貼っていただいている場合は、正常につながることをご確認下さい。

PMDAメディナビ登録ページ

<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/medi-navi/0007.html>

十二指腸鏡による多剤耐性菌の伝播について

（地I285）

平成27年3月27日

日本医師会常任理事 鈴木 邦彦

厚生労働省医政局地域医療計画課長及び同省医薬食品局安全対策課長の連名にて各都道府県等衛生主管（部）局長宛に標記の通知が発出されました。

多剤耐性菌に関しては、内視鏡的逆行性胆管膵管造影（ERCP）等に用いられる十二指腸鏡による伝播について、米国食品医薬品局（FDA）より安全情報が発出されております。我が国では、十二指腸鏡が米国で流通しているものよりも洗浄に関して有利な構造であることや、我が国の腸内細菌科細菌のカルバペネム耐性率は米国の11%に比して1%以下と低いことから、多剤耐性菌による感染リスクは米国と異なりますが、十分にリスクが小さいことが確認されたわけではなく、依然、注意が必要な状況であるとされております。

本通知は、十二指腸鏡を用いた施術が必要な国内の患者に対して当該施術を直ちに中止する必要はないものの、患者へのリスクの説明や適切な洗浄方法等の遵守等の留意事項について周知を依頼するものです。

つきましては、本件に関しご了解のほどよろしくお願い申し上げます。

（以下、平成27年3月20日付け厚生労働省医政局地域医療計画課長・医薬食品局安全対策課長通知より抜粋）

記

1. 今回の米国でのFDAの安全情報においても、「内視鏡的逆行性胆管膵管造影（ERCP）を必要としている患者に対して、ERCPを中止すべきとする勧告は行っていない」とされているように、ERCP等の十二指腸鏡を用いた施術が必要な国内の患者に対し、当該施術を直ちに中止する必要はないこと。

2. 十二指腸鏡を用いた検査又は処置に当たっては、その目的とそれによってもたらされる可能性のあるリスクについて、患者に対してあらかじめ説明すること。
3. 感染リスクを最小化するために、十二指腸鏡の洗浄及び滅菌又は消毒に関して関連学会等が策定するガイド及び添付文書・取扱説明書等において製造販売業者が定める方法を遵守すること。
4. 鉗子起上装置のある先端部は複雑な構造であるため、先端部のキャップを取り外し、専用のブラシを用いて丁寧に洗浄を行うこと。
5. 十二指腸鏡を用いた検査を介したカルバペネム耐性腸内細菌科細菌（CRE）等の多剤耐性菌の伝播が確認又は疑われた場合は、管轄する保健所に速やかに報告すること。併せて、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（昭和35年法律第145号）第68条の10第2項に基づく報告（医薬関係者による副作用等報告）についても、独立行政法人医薬品医療機器総合機構に提出すること。

＜参考＞

- ・ 消化器内視鏡の感染制御に関するマルチソサエティ実践ガイド（日本環境感染学会、日本消化器内視鏡学会、日本消化器内視鏡技師会作成（平成25年7月））

http://www.kankyokansen.org/other/syoukaki_guide.pdf

又は

http://www.jgets.jp/CD_MSguide20130710.pdf

- ・ 医薬関係者による副作用等報告について

<http://www.pmda.go.jp/safety/reports/hcp/pmd-act/0003.html>

厚生労働省「終末期医療の決定プロセスに関するガイドライン」の改訂について

（庶265）

平成27年3月31日

日本医師会副会長 松原 謙二

人生の最終段階における医療の方針決定等のあり方に関して、平成26年3月の「終末期医療に関する意識調査等検討会報告書」において、「終末期医療」に代えて「人生の最終段階における医療」という用語が望ましい旨の報告がなされたことを受けて、今般、厚生労働省は、「終末期医療の決定プロセスに関するガイドライン」を改訂するとともに、その普及を図るためのリーフレットが作成されました。

改訂後のガイドライン及び同ガイドライン（解説編）、並びにリーフレットは、厚生労働省より全国の各病院長宛に送付されております。

なお、これらの資料は、次の厚生労働省のホームページからもダウンロードできますので、併せてご活用ください。

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/iryuu/saisyuu_iryuu/index.html

消防法施行令の一部を改正する政令等の運用について（通知）

（地I5）

平成27年4月2日

日本医師会常任理事 鈴木 邦彦

今般、消防庁予防課長より各都道府県消防防災主管部長等宛に標記通知が発出されるとともに、本会に対しても周知方依頼がありました。

本件は、消防法施行令、施行規則等の改正に関する留意事項について示したものです（消防法施行令等の改正については、平成26年10月23日付（地I186）の文書をもってご連絡しております）。

1. 病院におけるスプリンクラー設備設置免除について

今回の改正により、消防法施行令別表第1(6)項イ(1)に掲げる病院については、スプリンクラー設備の設置が義務化されたところです。

ただし、令別表第1(6)項イ(1)の病院について、「火災発生時の延焼を抑制するための消火活動を適切に実施することができる体制を有するものとして総務省令で定めるもの」については、スプリンクラー設備の設置義務対象から外れます。本通知において、その体制についての留意事項が示されております。

2. 有床診療所におけるスプリンクラー設備設置免除について

令別表第1(6)項イ(2)に掲げる有床診療所についても、スプリンクラー設備の設置が義務化されたところですが、通知の1(3)にある通り、許可病床数が4以上であっても、一日平均入院患者数が1未満の場合は「4人以上の患者を入院させるための施設を有する」ものに該当しないものとして取り扱って差し支えないとされています。

なお、消防署による診療科名、許可病床数、一日平均入院患者数等の確認については、医療法に基づく医療機能情報提供制度の活用が想定されています。また、上記1の病院の職員数等についても、医療機能情報提供制度により確認ができるよう、掲載情報の拡充が検討されているところです。

3. 特定施設水道連結型スプリンクラー設備について

通知の3(1)において、令別表第1(6)項イ（病院・診療所等）及びロ（介護関係施設等）が併存する場合には、それぞれの用途に供される部分を一つの防火対象物とみなし、基準面積が1,000㎡未満であれば、それぞれにおいて特定施設水道連結型スプリンクラー設備を設置することができるとされています。

4. 消防機関へ通報する火災報知設備（火災通報装置）について

今回の改正により、病院、有床診療所及び有床助産所については、面積にかかわらず、消防機関へ通報する火災報知設備（火災通報装置）の設置が義務付けられました（経過措置は平成31年3月31日まで）。

また、令別表第1(6)項イ(1)及び(2)に掲げる病院・有床診療所については、自動火災報知設備との連動も義務付けられております。

なお、これまで、消防機関からの歩行距離が500m以下の場所にあるもの（規則第25条第1項による免除）、また有床診療所の場合は消防機関へ常時通報することができる電話が常時人がいる場所に設置されている場合（消防署長の判断による免除）については、特例として設置が免除されてきましたが、令別表第1(6)項イ(1)及び(2)に掲げる病院・有床診療所についてはこの特例は廃止されました。

(3)に掲げる病院・有床診療所につきましては、特例は継続しますが、補助金も活用できますので、積極的に設置をご検討いただきますようお願い申し上げます。

「医療機関外 の 場所で行う健康診断の取扱いについて」の改正について

日医発第24号（地Ⅰ16）

平成27年4月6日

日本医師会長 横倉 義武

厚生労働省医政局長より各都道府県知事に対し、標記の通知が発出されました。

本件は、旧厚生省通知「医療機関外 の 場所で行う健康診断の取扱いについて」（平成7年12月15日付日医発第674号（地282）にて貴会宛に送付済。）につき、予防接種等における医療機関の事務手続の簡素化を図る観点から改正を行い、周知を依頼するものであります。詳細につきましては、新旧対照表をご確認ください（省略）。

なお、予防接種については、あくまで、新たに診療所開設の手続を要しない場合を示しているのみであり、本通知によって「定期接種実施要領」による実施場所、注意事項その他の取扱いを何ら変更するものではないこと、並びに採血については、地方公共団体が直接又は委託して実施する検査のための採血に限定されていることについてご留意いただきますようお願いいたします。

つきましては、本件についてご了解のほどよろしくお願い申し上げます。

追って、本通知に関連して、「医療機関外 の 場所で行う予防接種実施について」（平成27年4月6日（地Ⅲ1））及び「「予防接種法第5条第1項の規定による予防接種の実施について」の一部改正について」（平成27年4月6日（地Ⅲ2））。定期接種実施要領の一部見直し）をお送りしておりますことを申し添えます。

※新旧対照表がご入り用の先生方は、お手数ですが広島県医師会地域医療課（TEL：082-232-7211）までご連絡をお願いします。

医療機関外 の 場所で行う予防接種の実施について

（地Ⅲ1）

平成27年4月6日

日本医師会感染症危機管理対策室長 小 森 貴

『「医療機関外 の 場所で行う健康診断の取扱いについて」の改正について』は、平成27年4月6日付日医発第24号（地Ⅰ16）をもってお送りいたしましたが、同改正により、医療機関外 の 場所で行う予防接種のうち、一定要件を満たすものについては新たに診療所開設の手続きを要しないものとされたところであります。

これに伴い、今般、医療機関外 の 場所で行う予防接種に当たっての注意事項について、厚生労働省医政局長、健康局長の連名により通知が発出されました。

本件の概要は、①医療機関外 の 場所で行う定期の予防接種を行う場合において、別添（省略）の「定期接種実施要領」による実施場所、注意事項その他の取扱いに従い実施すること、②医療機関外 の 場所で行う任意の予防接種を行う場合においても「定期接種実施要領」による実施場所、注意事項その他の取扱いに準じて実施するよう努めることであります。

なお、本改正によっても定期接種実施要領の「第1 総論 5 接種の場所」に示すとおり、「定期接種については、適正かつ円滑な予防接種の実施のため、市町村長の要請に応じて予防接種に協力する旨を承諾した医師が医療機関で行う個別接種を原則とすること。」について、変更するものでないことを申し添えます。

定期接種実施要領がご入り用の先生方は、お手数ですが広島県医師会地域医療課（TEL：082-232-7211）までご連絡をお願いします。

「予防接種法第5条第1項の規定による予防接種の実施について」の一部改正について

(地Ⅲ2)

平成27年4月6日

日本医師会感染症危機管理対策室長 小 森 貴

今般、定期接種実施要領の一部が改正され、4月1日から施行されることとなり、厚生労働省健康局長より各都道府県知事宛通知がなされました。

今回の改正の概要は下記のとおりであります。

記

改正の概要

- (1) 定期的な検診の機会を利用した接種状況の確認で、3歳児健康診査の機会においても接種状況を確認することを追加すること。
- (2) A類疾病の定期接種を集団接種で実施する際の注意事項として安全性の基準を定めていたところ、集団接種に限らず医療機関以外の場所で定期接種を実施する際の注意事項として安全性の基準を定めること。
- (3) 平成27年度における日本脳炎の定期接種の積極的な勧奨の対象者について定めること。
- (4) 水痘の定期接種における特例対象者について、平成26年度末をもって特例措置を終了すること。
- (5) 水痘ワクチンの接種に当たっても、麻しん風しんワクチンと同様、溶解後速やかに接種することを定めること。
- (6) 高齢者の肺炎球菌感染症の定期接種における特例対象者のうち、平成26年3月31日において100歳以上の者については、平成26年度末をもって特例措置を終了すること。

平成27年度 医師賠償責任保険の保険更新について（ご案内）

平成27年4月

広島県医師会 会員各位
(100万円保険加入者)

広島県医師会が団体契約する医師賠償責任保険が来る平成27年5月1日に保険更新を迎えます。

つきましては、平成27年度の広島県医師会医師賠償責任保険（100万円保険）の保険内容・保険料についてご案内させていただきます。

この保険は、日医医賠責保険免責分の担保となると同時に、少額の事故対応に極めて有用のため、現在は原則全員加入としております。

なお、当保険の加入（更新）を希望されない場合は、解約届出書をお送りいたしますので、下記（広島県医師会保険医事課）までご連絡くださいますようお願いいたします。

※一度解約手続きをされますと再度加入手続きをされない限り非加入のままですのでご留意下さい。

広島県医師会医師賠償責任保険（100万円保険）

保 険 内 容：1事故100万円・保険期間中300万円、刑事弁護士費用担保特約

保 険 期 間：平成27年5月1日～平成28年5月1日（1年間）

年間保険料：6,010円（会費賦課徴収規則に準じて徴収）

取扱代理店：広医(株) / 引受保険会社：東京海上日動火災保険(株)

一般社団法人広島県医師会【保険医事課】

TEL：082-232-7211 / FAX：082-293-3363

E-mail：ijihosei@hiroshima.med.or.jp

平成27年度広域化予防接種市町別委託料金のお知らせ（平成27年4月～）

広島県医師会
感染症担当理事

広域化予防接種事業の推進につきましては、平素より格別のご支援・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

感染症対策の根幹である予防接種事業をより一層推進するため、広域化予防接種事業実施協力機関におかれましては、県民の方が県内どの市町でも各種の定期予防接種を公費で受けることができるよう、引き続きご高配のほどよろしくお願い申し上げます。

さて、この度、平成27年度の広域化予防接種市町別委託料金が別表の通り決定いたしましたので、お知らせ申し上げます。ご確認の上、広島県国民健康保険団体連合会へご請求下さい。

広域化予防接種事業実施協力機関への新規登録または登録内容の変更の際は、29ページの調査票にご記入の上、本会地域医療課宛（FAX：082-293-3363）にご返信いただくだけで結構です（登録は随時受付しております）。

なお、高齢者インフルエンザの委託料金については、接種料金が確定次第、お知らせいたします。

医療安全情報 下記の団体は、定期的に医療安全情報を作成し公表しています。**<日本医療機能評価機構 医療事故情報収集等事業>**

平成27年 3 月 医療安全情報No. 100 2014年に提供した医療安全情報
医療事故情報収集等事業 第40回報告書

URL：http://www.med-safe.jp/

<日本医療機能評価機構 薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業>

平成27年 3 月 薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業 第12回集計報告

URL：http://www.yakkyoku-hiyari-jcqh.or.jp/

<医薬品医療機器総合機構（PMDA）> ※ホームページがリニューアルされています

平成26年 8 月 PMDA医療安全情報No. 45 静脈留置針操作時の注意について

URL：http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/medical-safety-info/0001.html
使用上の注意の改訂指示

URL：http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/calling-attention/revision-of-precautions/0001.html

<日本医療安全調査機構 警鐘事例>

URL：http://www.medsafe.jp/activ_alarm.html

<厚生労働省>

平成27年 2 月 医薬品・医療機器等安全性情報第321号

ラモトリギンによる重篤な皮膚障害について 他

URL：http://www1.mhlw.go.jp/kinkyu/iyaku_j/iyaku_j/anzenseijyouhou.html

<医療安全全国共同行動> 医療安全の取り組みに役立つツールを提供しています。

URL：http://kyodokodo.jp/

広域化予防接種事業実施協力に関する調査票

広島県医師会地域医療課宛(FAX: 082-293-3363)

広域化予防接種事業を実施する県内市町の住民が定期予防接種を希望された場合の、予防接種の実施の有無や実施内容についてお尋ねします。該当する番号等に○をお付け下さい。

記入日: 平成 年 月 日 現在

貴施設名: _____

貴管理者名: _____

1. 《広域化予防接種実施の有無》

① 実施する

② 実施を取り止める



(ア 新規登録 、 イ 変更登録)

※ 実施される場合、接種料金は被接種者の住所地(市町)で定められた料金を国保連合会に請求することになりますので、この点をご了解の上、下記項目にご回答下さい。

2. 《実施内容》1において、「① 実施する」と回答された医療機関にお尋ねします。

■実施する予防接種の種類: 実施する種類すべてに○をお付け下さい。

①DPT-IPV

②DPT

③DT

④ポリオ(不活化ポリオ)

⑤MR

⑥麻疹

⑦風疹

⑧日本脳炎

⑨BCG

⑩ヒブ

⑪小児用肺炎球菌

⑫子宮頸がん予防ワクチン

⑬高齢者インフルエンザ

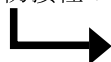
⑭水痘

⑮高齢者肺炎球菌

■実施日時:

①診療日、診療時間内

②予防接種のための日時を特別に設けている



曜日 時 分 ~ 時 分 まで

曜日 時 分 ~ 時 分 まで

③その他 ()

■接種者への条件や注意事項があればご記入下さい(「対象年齢の制限」、「通院患者のみ対応」等)。

()

3. 《施設情報》新規の場合、あるいは変更がある場合はご記入下さい。

(〒)

■住所: _____

■TEL: _____ ■FAX: _____

4. 《その他》注意事項やご意見がございましたら、ご記入下さい。

平成27年度広域化予防接種市町別委託料一覧

・ワクチン料+手技料(消費税含む) ・予診のみは、予診の結果接種不適になったもの。但し、医療に移行したものは除く。

単位：円(消費税含む)

市町名	ワクチン名	四種混合 DPT-IPV	三種混合 DPT	二種混合 DT	不活化ポリオ	麻疹・風疹 混合ワクチン	麻 疹	風 疹	日本脳炎 (細胞培養)	BCG	子 宮 頸がん	ヒブ	小児用肺炎球菌	水痘	高齢者肺炎球菌		予診のみ
															患者負担額	公費負担額	
安芸太田町	6歳未満:11.180 6歳以上:10.370	5.620	4.640	6歳未満:9.940 6歳以上:9.130	6歳未満:10.580 6歳以上:9.770	7.070	7.090	8.520	11.830	8.910	1,000	7,360	3,050				
安芸高田市	6歳未満:10.350 6歳以上:9.600	5.260 4.510	5.050 4.300	6歳未満:9.200 6歳以上:8.450	6歳未満:9.800 6歳以上:9.050	6歳未満:6.550 6歳以上:5.800	6歳未満:6.560 6歳以上:5.810	7,890	10,950	8,250	2,000	5,870	2,000				
江田 島 市	10.500	5.100	4.600	9.800	9.400	6.200	6.200	8,100	10,200	8,600	4,000	3,700	—				
大崎上島町	10.880	5.390	4.410	9.670	10.290	6.780	6.790	8,230	11,100	8,898	0	7,730	2,000				
大 竹 市	6歳未満:11.230 6歳以上:10.420	5.720 4.910	5.620 4.810	6歳未満:10.100 6歳以上:9.290	6歳未満:10.510 6歳以上:9.700	6歳未満:7.000 6歳以上:6.190	6歳未満:7.140 6歳以上:6.330	8,680	11,700	8,920	5,110	3,000	6歳未満:3,860 6歳以上:3,050 高齢者肺炎球菌:3,050				
尾 道 市	10.100	4.660	4.570	8.920	9.560	6.050	6.060	7,500	10,810	8,000	4,000	3,740	2,740 高齢者肺炎球菌:1,790				
海 田 町	11.030	5.530 4.780	4.560	6歳未満:9.790 6歳以上:9.040	(1・2期):10.490	6.960	6.960	7,350	10,260	8,760	3,000	4,890	—				
北 広 島 町	6歳未満:11.180 6歳以上:10.370	5.620	4.640	6歳未満:9.940 6歳以上:9.130	6歳未満:10.580 6歳以上:9.770	7.070	7.090	8,520	11,830	8,910	1,000	7,360	3,050 インフル:1,840				
熊 野 町	未就学児: 11.030 就学児:10.280	未就学児:5.530 就学児:4.780	5.020	未就学児:9.790 就学児:9.040	10.490	6.960	6.960	8,000	10,000	8,760	2,500	6,160	未就学児:3,570 就学児:2,820 高齢者肺炎球菌:1,770				
呉 市	6歳未満:11.300 6歳以上:10.490	5.750 4.940	5.630 4.820	6歳未満:10.110 6歳以上:9.300	6歳未満:10.380 6歳以上:9.570	6歳未満:7.250 6歳以上:6.440	6歳未満:7.290 6歳以上:6.480	6歳未満:8,700 6歳以上:7,890	12,000 11,190	9,090	4,500	4,030	3,040				
坂 町	6歳未満:11.020 6歳以上:10.210	5.720 4.920	5.490 4.680	6歳未満:9.980 6歳以上:9.170	6歳未満:10.670 6歳以上:9.860	6歳未満:7.140 6歳以上:6.330	6歳未満:7.140 6歳以上:6.330	7,400	10,300	9,000	2,500	5,500	—				
庄 原 市	10.190	4.640	4.550	9.160	9.680	6.080	6.080	7,120	10,630	8,000	3,000	5,000	—				
神石高原町	10.810	5.660	4.630	10.090	1期:10.260 2期:9.860	1期:6.870 2期:6.470	1期:6.880 2期:6.480	8,680	11,980	8,710	0	8,100	—				
世 羅 町	10.100	4.770	4.600	8.900	9.600	6.100	6.100	7,800	10,800	8,100	2,000	6,000	1,790				
竹 原 市	10.100	4.600	4.600	8.900	9.300	5.800	5.800	7,500	10,800	7,900	3,000	4,800	—				
廿 日 市 市	6歳未満:10.510 6歳以上:9.680	5.330 4.500	4.470	6歳未満:9.490 6歳以上:8.660	6歳未満:9.800 6歳以上:8.970	6歳未満:6.520 6歳以上:5.690	6歳未満:6.520 6歳以上:5.690	7,620	10,920	8,010	4,700	3,300	2,820 高齢者肺炎球菌:1,790				
東 広 島 市	10.360	4.750	5.160	9.120	9.300	6.260	6,270	7,710	11,010	8,090	4,000	4,000	3,050 高齢者肺炎球菌:1,840				
広 島 市	11.518	6.274	5.697 4.110	10.184	1期:13.392 2期:12.042	1期:9.882 2期:8.532	1期:7,797 2期:7,387	8,433	11,129	9,234	4,700	3,600	水痘:3,942 高齢者肺炎球菌:3,132 その他については※1				
福 山 市	10.810	5.660	4.630	10.090	1期:10.260 2期:9.860	1期:6,870 2期:6,470	1期:6,880 2期:6,480	8,680	11,980	8,710	3,000	5,100	—				
府 中 市	10.330	4.510	4.640	9.220	9.280	5.740	5,810	8,000	10,000	9,070	4,000	3,900	—				
府 中 町	11.340	5.850	5.080 4.270	10.100	10.800	7.270	7,270	8,350	10,850	9,000	4,700	3,600	—				
三 原 市	10.100	4.770	4.410	8.900	9.600	6.100	6,100	7,800	10,800	8,100	3,000	4,800	2,916				
三 次 市	10.450	5.390	5.390	9.160	9.580	6.690	6,560	7,130	10,630	8,000	3,000	5,000	乳幼児:2,500				

※1：広島市の予診のみについては県医師会地域医療課 (082-232-7211) までお問い合わせください (平成27年4月)